

平成31年度 学校経営方針 概要版

国立市立国立第四小学校長 市川 晃司

参考資料

- 第3期教育振興基本計画 (文部科学省)
「自立」「協働」「創造」
- 学習指導要領 (文部科学省)
「主体的・対話的で深い学び」

育成を目指す資質・能力

これからの変化の激しい予測困難な社会において、自分の夢に向かって主体的にたくましく、また、人や自然環境等と協調しながらしなやかに生きていく資質・能力

児童の実態

- 素直で向上心が高い。
- 指示されたことには一生懸命取り組む。
- 自分で課題を見付け、主体的に解決することが苦手である。
- コミュニケーション不足によるトラブルが多い。

合言葉

「夢いっぱい 感動いっぱい チャレンジいっぱい 国立第四小学校」

学校教育目標

◎よく考え進んで
学ぶ子 (知)

○自分も友だちも
大切にする子 (徳)

○正しく判断し行動
できる子 (徳)

○体を鍛え最後まで
やり抜く子 (体)

6つの基本方針

1 確かな学力の
定着と向上

2 社会に開かれた
教育課程の実現

3 命や個性を大切に
する教育の充実

4 「自立」と「共生」を目指し
た特別支援教育の推進

5 道徳教育の改
善・充実

6 体力・運動能力の
向上

今年度の重点

- ・主体的・対話的で深い学びの実現
- ・問題解決的な学習を重視した授業改善
- ・「めあて」「まとめ・振り返り」に加え、「集団検討」時における支援の充実を重点設定
- ・論理的思考力を育むためのプログラミング教育の推進

- ・「教科・領域で活用できる地域人材一覧表」の活用
- ・地域学習の一層の充実
- ・行政や地域住民との連携を図る総合防災訓練の実施
- ・学校便り、専科便り、学級便り、ホームページ等による情報発信

- ・直接命に関わる教育活動については、特に真剣な気持ちで行うことの徹底
- ・温かい人間関係を築くための学級・学年経営の充実
- ・いじめの未然防止、早期発見、早期対応
- ・よいことはほめ、望ましくない言動は毅然と指導することの徹底

- ・インクルーシブ教育システムの理念を踏まえた推進
- ・ユニバーサルデザインと合理的配慮を大切にした授業改善
- ・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内体制の構築
- ・通常の学級と特別支援教室「はばたき」との連携強化

- ・「考え、議論する道徳」への質的転換
- ・道徳教育推進教師を中心とした校内研修による授業改善
- ・校長や副校長の授業への参加、他の教師と行う協力的な指導
- ・道徳授業地区公開講座や学校公開の機会を活用した保護者、地域の方への理解啓発

- ・児童にとって魅力ある体育授業の創造
- ・コーディネーショントレーニングを取り入れた体育の授業改善と体力・運動能力の向上
- ・学期ごとに取り組む体育的活動の充実
- ・オリンピック・パラリンピック教育の推進
- ・基本的な生活習慣の定着を目指した家庭との連携

【目指す学校像】

- 1 児童が夢と感動とチャレンジを実感できる学校
- 2 教職員が常に学ぶ姿勢のある学校
- 3 保護者が安心できる学校
- 4 地域の核となれる学校

【期待する教師像】

- 1 児童に夢と感動とチャレンジを与え、児童から夢と感動とチャレンジを引き出し、児童と夢と感動とチャレンジを共有できる教師
- 2 児童一人一人を大切にする教師
- 3 教育公務員としての自覚をもち、常に指導技術の向上を目指す教師
- 4 「チーム四小」の一員として同僚性を大切にし、助け合い協働できる教師
- 5 保護者・地域と一体となって児童を育てようとする教師